

## ベージニオ<sup>®</sup>錠について

### □ ベージニオ<sup>®</sup>錠 (Verzenio<sup>®</sup> Tablets)

商品名：ベージニオ<sup>®</sup>錠 50mg, 100mg, 150mg

成分名：アペマシクリブ錠

50

100

150

### □ 内服開始にあたって

ベージニオ<sup>®</sup>は他のホルモン療法剤（レトロゾールやフルバストラント等）と併用し、乳がん細胞の増殖を抑える薬です。今後服用を継続していく上で、この薬で出やすい副作用を理解しておくことは非常に大切です。薬の事をよく理解し、上手に付き合ってください。

何か異常を感じた際は我慢したり、ご自分の判断で中止したりせず、必ず医師・薬剤師にご相談ください。

### □ がん細胞に対するベージニオ<sup>®</sup>のはたらき

細胞が増える際、エンジンのような働きをするものに“サイクリン依存性キナーゼ”と“サイクリン”があります。サイクリンはサイクリン依存性キナーゼを活性化させるのに必要な物質であり、これらは複合体を形成することで働きます。サイクリンには複数のタイプ（A, B, D, E など）が存在しますが、ベージニオ<sup>®</sup>はこのうちサイクリンDとサイクリン依存性キナーゼ（CDK4, CDK6）の活性を抑える薬です。サイクリンDの発現を抑制するホルモン療法剤との併用により、抗腫瘍効果が増強します。

### □ 服用上の注意

- ・毎日大体同じ時刻に内服してください（医師の指示通り）。食事に関係なく服用できます。
- ・飲み忘れた場合は、決して2回分を一度に飲まないでください。
- ・グレープフルーツジュースの摂取は避けてください（ベージニオ<sup>®</sup>の副作用が出やすくなる可能性があります）。

### □ 副作用とその対策

副作用は恐れるのではなく、理解を深めてうまくコントロールすることが一番大切です！

#### 比較的にやすく、注意が必要な副作用

##### 【 下痢 】

ベージニオ<sup>®</sup>では特によくみられる副作用です。症状が出た際は止瀉薬（下痢止め）を服用するなどして対応します。下痢止めを飲んでも症状が軽減されない場合は、ベージニオ<sup>®</sup>の服用を休止することも選択肢となります。下痢時は脱水を避けるため、水分を多めに摂取してください。

##### 【 骨髄抑制；好中球 / 白血球減少，血小板減少，貧血 】

白血球数の減少、特に白血球の一種である好中球数の減少には注意を要します。好中球数が著しく減少した場合、細菌などから体を守る力が弱くなり、発熱が起こりやすくなります。採血で血液の状態を確認していきますが、ご自宅で発熱や悪寒が認められた場合は下記連絡先へご連絡ください。また、血小板数が著しく減少した場合、出血時に血が止まりにくくなります。日頃から歯磨きを優しく行い、歯ぐきからの出血を防ぐなどの対応を行ってください。血液中のヘモグロビンが減少すると貧血症状（だるさや息切れなど）が現れることがあります。程度に応じてベージニオ<sup>®</sup>の服用をお休みするなどして対応します。

#### 比較的にやすいが、程度は軽いことが多い副作用

- ・疲労感、悪心（吐き気）、口内炎、脱毛症、関節痛

#### 出ることは少ないが、注意が必要な副作用

- ・間質性肺炎（発熱や咳、息苦しさが出た場合は、ご連絡ください。）

### □ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、室温で保管してください。
- ・妊婦が誤って飲むと胎児に奇形が生じる恐れがあります。  
他の人が誤って飲むことがないように、注意してください。

ご不明な点につきましては御気軽にお尋ねください。わたしたちがサポートします。

静岡市立清水病院 薬剤部 電話番号 054 - 336 - 1111（代表）

《 医療機関の方へ がん薬物療法に関するご説明・同意取得済みです 》

